

清流の国ぎふ



祝
世界が認めた宝もの

世界農業遺産認定記念行事

清流長良川の鮎・里川紀行

平成27年12月15日、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたのを記念して、流域に暮らす人々が集結。清流の恵みに生まれ、守り伝えてきた文化を披露。世界に認められた、私たちの故郷「清流の国ぎふ」への誇りを高めます。

平成28年

3.19土

開場13:30 開演14:00

ぎふ清流文化プラザ

長良川ホール

岐阜市学園町3-42

特別ゲスト

オカリナ奏者 宗次郎

「清流育む岐阜の土音」



郡上おどり保存会(郡上市)



広岡町広友会(美濃市)



関市獅子舞保存会(関市)



岐阜県立長良高等学校コーラス部(岐阜市)

入場無料

整理券配布開始

2月22日(月)から

※詳細は裏面をご覧ください。

(全席自由席)

【配布場所・問い合わせ】

岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1階

岐阜県教育文化財団企画運営課 TEL.058-233-5810

■主催:岐阜県

■協力・問い合わせ先:(公財)岐阜県教育文化財団



宗次郎 プロフィール



陶製の笛オカリナの第一人者。

1975年、生まれて初めて聴いたオカリナの音色に魅せられ、自分の目指す音を求めてオカリナ作りを始める。1985年までの10年間に制作した数は1万個。現在は、その中から選りすぐった10数個のオカリナを使用している。

1985年にレコードデビュー。1986年のNHK特集「大黄河」の音楽で一躍脚光を浴び、人気アーティストとしての地位を得る。1993年には、アルバム『木道』（キドウ）『風人』（フウト）『水心』（スイシン）の自然3部作で、第35回日本レコード大賞〈企画賞〉を受賞。

2008年8月、オカリナの普及やファンとの交流の場として「Sojiroオカリナーの森」を建設。常に自然との関わりの中で土とのふれ合いを大切に、創作活動を続けている。

岐阜県との関わり

- 使用するオカリナは、多治見市の土を使用。
- 本楽市（うすずみ公園）にて、夏にコンサートを実施。（1993年より毎年）
- 2012「ぎふ清流国体開会式 式典前演技」に出演。
- 2015「第39回全国育樹祭（揖斐川町）」にて、皇太子殿下奉迎演奏。など

郡上踊

国指定無形民俗文化財 指定年月日 平成8年12月20日

郡上踊は、寛永年間（1624～44）、郡上の時の藩主遠藤慶隆但馬守が士農工商の融和を図るために催したのに始まったとされている盆踊である。現在、この踊りは、8月13日から16日の盂蘭盆の徹夜踊を中心に、7月中旬から9月上旬にかけて、各町の神様の祭礼、仏様の供養の日に踊られる縁日踊、その他が次々と繰り広げられる。各地からも多くの人が参集する著名な盆踊であり、ことに徹夜踊のときは賑わいが最高潮に達し、一つの音頭屋上を踊りの輪が何重にも取り巻き壮観を極める。この踊りは以前は歌だけで踊られたものだが、今は、音頭屋上の大小太鼓・笛・三味線・拍子木の伴奏に合わせて踊られている。伝承曲は、「古調かわさき」「かわさき」「三百」「春駒」「猫の子」「さわぎ」「甚句」「げんげんばらばら」「ヤツチャク」「まつさか」であり、踊り手の仕度は思い思いで、頬かぶりあり、尻はしよりありで、下駄ばきである。語り物口説きの音頭で踊られるものあり、甚句で踊られるものあり、また、きびきびとした手振りでスピーディーに踊るものもあれば、ゆっくりとしたリズムのものもある。さらに音頭に対して踊り手が返し歌をしたり、囃子言葉で応じたり等して、全体としてバラエティーに富んだ内容豊富な盆踊である。この郡上踊は、我が国を代表する盆踊の一つとして芸能史上とくに重要なものであり、また、美濃北部山村の豊富な民謡を背景にした独特の手を伝えているなど、地域的な特色の顕著な盆踊である。

美濃流し仁輪加

岐阜県指定無形民俗文化財・国選択 指定年月日 平成8年7月9日
選択 平成8年11月28日

美濃の仁輪加は、文政（1818～1830）年間に港町若衆連の帳面にその記録がみられることから、江戸時代後期にはこの地に伝わったものと考えられる。仁輪加は旧暦8月1日から八幡神社祭礼の一環として、囃子と共に練習し、14・15日の例祭日に披露されたと伝えられる。囃子には春道・音羽屋・十日恵比寿・数え唄などの曲目がある。囃子の主体は明治・大正時代には大太鼓・小太鼓・笛であったものが、その後三味線の比重が大きくなった。現在の囃子の音程は昭和30年（1955）を境に一段低いものになったとされる。現在の例祭は4月第2土・日曜日に変更されている。仁輪加車に松を立て、笛・太鼓・鼓・三味線の囃子と共に町内を練り歩き、定められた場所で、見物人が丸く囲むなかで仁輪加は演じられる。まず、拍子木を打ち「東西、トーザイ、この場おん目にぶらさげますのは『仁輪加の標題』（中略）まずは口上、後はなにやらかやめちゃくちやのはじかまり、東西、トーザイ」と口上を述べ、次いで演技、落ち、引き上げの掛け声「エッキョウ」と、4つの部門で構成されている。美濃仁輪加は、時事風刺のきいた即興であること、その年一度限りで再演を禁止すること、口上から引き上げ掛け声まで演出が定型化していること、落ちによってその仁輪加を評価すること、囃子が必ずつくことなど、美濃に伝わった当初の形態を残しつつ今日に至っている。広岡町は、例年上位を占め、定評のある町内である。

関市の獅子舞（獅子芝居）

関市無形文化財 指定年月 昭和45年10月

獅子芝居は、文楽や歌舞伎等から取り入れた文化に神楽独自の歌を作り振り付けられて生まれ、江戸時代から農民の唯一のレジャーとして、今日に至るまで受け継がれている。関市の獅子舞（獅子芝居）は、昭和43年4月に保存会ができ、毎年10月に獅子舞大会を開催。昭和45年10月には市の無形文化財に指定された。小瀬地区の獅子舞は享保15年（1731年）から250年以上にわたり伝統芸能を継承し、昭和43年に関市獅子舞保存会に加入。今なお小瀬八幡神社に獅子舞を奉納するとともに、9月には敬老会を慰問するなど地域に根付いた活動も行っている。

長良高等学校コーラス部

私たちは、1年生14名、2年生12名の計26名で毎日楽しく活動しています。コンクール参加や定期演奏会開催以外にも、各種施設や小中学校への訪問を積極的に行い、合唱を通して幅広い世代の方々と交流を深めています。2015年度、第55回岐阜県合唱コンクールにて、金賞及び岐阜県教育委員会賞を受賞。県代表として参加した第68回中部合唱コンクールにて銀賞を受賞。また、11月に行われた岐阜県高等学校総合文化祭合唱部門では最優秀賞を受賞し、来年度広島県で行われる第40回全国高等学校総合文化祭への出場が決定しております。

■整理券の配布について

【配布場所/お問い合わせ】

（公財）岐阜県教育文化財団 企画運営課

〒502-0841 岐阜市学園町 3-42 ぎふ清流文化プラザ1階

TEL:058-233-5810/FAX:058-233-5811 <http://www.g-kyoubun.or.jp/jimk/>

●配布期間 2月22日（月）～ 予約数の配布が終了するまで

●配布時間 平日9:00～17:00

※遠方などの理由により、お越しになれない方は、封書による申し込みなど対応いたしますので、詳しくは企画運営課までお問い合わせください。

■観覧についてのご案内

●観覧は無料です。

●事前に整理券を配布します。（整理券は開演15分前までの入場優先券です。この券は、お席を確保するものではありませんので、予めご了承ください。）

●席が重ならないよう、お一人で複数枚ご希望の方は、観覧者のお名前を向うことがあります。

●客席数には限りがございますので、予定枚数を配布次第、整理券の配布を終了いたします。

●席に余裕がある場合には、当日の観覧が可能です。

●車いすご利用の方は事前にお問い合わせ下さい。

〈駐車場のご案内〉

●ぎふ清流文化プラザ駐車場（136台）

駐車料金/3時間まで100円 それ以降30分ごとに100円

※駐車場には限りがあります。

〈公共交通機関のご案内〉

●岐阜バス

JR岐阜駅10番のりば または 名鉄岐阜（バスターミナル）Cのりば

〔三田洞線〕市民会館 / 長良川国際会議場 方面行き

〔K50 長良八代公園前〕〔K51 三田洞団地〕〔K55 彦坂真生寺〕

より約20分。バス停「メモリアルセンター正門前」下車 徒歩1分。

※車椅子ご利用の方は事前にお問い合わせください。

〈アクセス〉

